

## 「新型コロナ」4月から通常の医療体制へ ワクチン接種も自己負担に 秋田

2024年3月27日秋田テレビ



<https://news.yahoo.co.jp/articles/4d240c6f0840c9a9f50d95a3f12f70d0daedee80>

秋田県や医療関係者などで組織する新型コロナウイルス対策の専門家会議が27日に開かれ、治療や医療機関への公費支援などを3月末で終えることが報告された。

県の対策協議会は、2020年3月に県内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されたことを受けて設置され、医療関係者などの専門家を交えて、秋田の医療体制などについて4年間議論を重ねてきた。

国は4月以降、通常の医療体制に移すことを決め、新型コロナに感染した患者は、4月からはインフルエンザなどと同様に診察する。

具体的には、発熱などの症状があった場合に受診した「外来対応医療機関」での受け付けを3月末で終了し、4月からは一般の医療機関で広く対応する。

また、治療や入院の費用は、これまで公費で補助されてきたが支援制度も終わり、医療保険の自己負担割合に応じて患者が支払う。

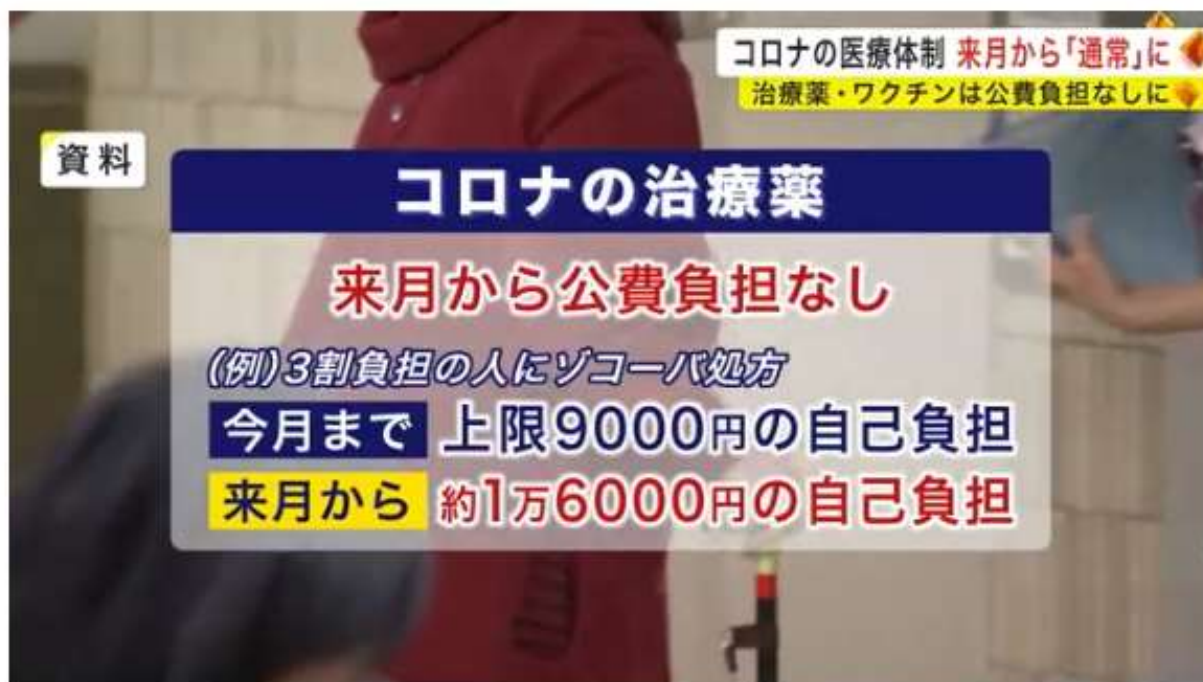
ワクチンも全額公費で接種できたが、原則自己負担となり、65歳以上の高齢者や、60歳から64歳で特定の疾患がある人に対しては、市町村が定期接種を実施する。

県健康福祉部 感染症特別対策室・野村桃子室長：

「今後、発熱などで医療機関を受診する際は、事前に医療機関に連絡をしてもらうとともに、新型コロナウイルスがなくなったわけではないので、基本的な感染対策を引き続き心掛けてほしい」

県がホームページで公表している78の医療機関では、倦怠感や味覚障害といった新型コロナの後遺症に引き続き対応するという。

新型コロナ 4月から治療薬・ワクチンは公費負担なしに 医療体制「通常」に<岩手県>  
3/21(木)岩手めんこいテレビ



岩手めんこいテレビ

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a6256b1ba0469ca449353838c3621306d72f61a2>

岩手県は厚生労働省の方針を受けて新型コロナウイルスに対する医療提供体制を4月から通常の体制に戻すことになりました。

治療薬やワクチンの公費負担はなくなるようになります。

県によりますと、県内ではこれまで新型コロナウイルスの診療を485カ所の「外来対応医療機関」で受け付けていましたが、4月1日からは一般の医療機関で広く受け付けることになりました。

また新型コロナウイルスの治療薬は4月から公費負担がなくなります。

例えば3割負担の人がゾコーバを処方された場合、これまで上限9000円だった自己負担は約1万6000円に増えることになります。

このほか1万円あった入院医療費の補助も4からはなくなります。

そしてワクチン接種の公費負担も3月いっぱい終了します。

4月以降は65歳以上の高齢者など定期接種の対象となる人で7000円程度、それ以外の方はそれ以上の自己負担が発生する見込みです。

一方24時間体制の相談窓口として運営されてきた「いわて健康フォローアップセンター」は3月いっぱい終了となりますが、4からは平日の夜間と休日に相談に応じる専用のコールセンターが新設され、従来から設置されている「県医療相談センター」とあわせて引き続き24時間体制で対応するとしています。